

尾道市浄化センターほか汚水処理施設等
包括的維持管理業務委託

特記仕様書

尾道市上下水道局

目 次

第1条	業務の範囲及び業務対象施設等	2
第2条	業務の内容	2
第3条	処理場の特記事項	3
第4条	電気主任技術者を選任する施設	4
第5条	業務の報告等	4
第6条	保全管理等要求水準	4
第7条	業務実施計画	4
第8条	要求水準を満足しない場合の対応	5
第9条	流入基準未達の場合の対応方法	6
第10条	引継事項	7
第11条	経費の負担	7
第12条	業務委託費の構成と支払い	7
第13条	業務の不履行が確認された場合の対応	9
第14条	契約解除	9
第15条	やむを得ない事由	9
特記別表1		10
特記別表2		11
特記別表3		25
特記別表4		32
特記別表5		33
特記別表6		34
特記別表7		35
別添要領書1		36

(業務の範囲及び業務対象施設等)

第1条 尾道市浄化センターほか污水处理施設等包括的維持管理業務特記仕様書(以下「特記仕様書」という。)に規定する業務の適用範囲は、尾道市浄化センターの処理施設及び所管施設とする。

- 2 業務の対象施設は、特記別表1に掲げる施設とする。
- 3 業務対象施設・設備の概要(処理場)は、特記別表2に示すとおりとする。
- 4 業務対象施設・設備の概要(ポンプ場、前処理施設、マンホールポンプ場)は、特記別表3に示すとおりとする。

(業務の内容)

第2条 一般仕様書第4条に規定する業務の内容は、前条で規定する対象施設について、その設置の目的に適合した運転管理、施設の正常な運転を確保するための保守点検及びその他関連業務とする。また、業務履行において規制を受ける放流水等の規制基準は関係法令の基準を遵守するとともに、要求水準書に示す要求水準を確保すること。

- 2 業務内容は、次のとおりとする。
 - (1) 対象施設の運転操作、監視に関する業務
 - ア 設備の運転操作、監視及びその記録
 - イ 電力、薬品使用量等の監視及び適切な操作
 - ウ 各種報告書の作成及び帳票の整理
 - エ 緊急時(大雨・台風・地震・その他重大事故等(不時の停電、異常流入水、処理水質の悪化及び機器異常等))における適切な運転、応急処置、原因調査及び発注者への報告
 - オ 保守点検に伴う機器の運転操作
 - カ 発注者が行う修繕、工事等に伴う機器の確認及び運転操作(既設設備を利用する場合の排水作業、その他の作業等)
 - キ 建築付帯設備(給排気、空調設備等)の運転操作
 - ク 沈砂及びスクリーンかす排出及び場内運搬作業
 - ケ 脱水汚泥運搬に関する業務
 - コ ポンプ場、マンホールポンプ場、圧送管の障害により送水不能となった場合の初期対応(バキューム車の手配や仮設ポンプ類の設置等)
 - サ その他施設の運転操作、監視に関する必要な業務
 - (2) 対象施設の保守点検に関する業務
 - ア 対象施設の日常点検、定期点検、臨時点検、定期自主点検、測定及びその記録、報告
 - イ 電気工作物保安規程及び機械電気設備保守点検基準による日常点検及びその記録、報告
 - ウ 関係法令に基づく危険物の取扱い、取扱い作業の立会い、定期点検
 - エ 当該施設の電気主任技術者、危険物取扱者の選任
 - オ 業務仕様明細書4、5に示す定期点検及びその記録、報告
 - カ 簡易な故障修理(特殊機器部品、専門技術を要しないもの。)、補修及び補修塗装並びにその記録
 - キ 分解清掃作業(閉塞物の除去、消耗品の交換等)の実施
 - ク 業務仕様明細書4、5に示す管理上必要な法定検査等(法定検査の立会い含む。)
 - ケ 業務仕様明細書4、5に示す管理上必要な検査等
 - コ 緊急時(大雨・台風・地震・その他重大事故等(不時の停電、異常流入水、処理水質の悪化及び機器異常等))における点検巡視
 - サ 機器の予備品の管理
 - シ 貸与品等の管理(共用する物を含む。)
 - ス その他保守点検に関する必要な業務

(3) 水質分析等に関する業務

- ア 特記別表 4 に示す水質試験（試料採取、試験、器具洗浄及び報告を含む。）
- イ 特記別表 4 に示す汚泥試験（試料採取、試験、器具洗浄及び報告を含む。）
- ウ 特記別表 4 に示す水質試験補助
- エ 水質計測機器等の維持管理
- オ 薬品の保管・管理
- カ 廃液の管理・処分
- キ その他水質分析等に関する必要な業務

(4) 施設管理に関する業務

- ア 建物及び周辺の清掃、除草及び樹木管理
- イ 施設の警備及び防火管理
- ウ その他施設管理に関する必要な業務

(5) 物品等の調達・管理に関する業務

- ア 特記別表 5 に示す物品等の調達及び管理
- イ 物品等には、備消耗品である電気・機械設備用消耗品・交換部品（潤滑油脂類、各フィルター類、リレー、マグネット、アイソレータ等）、雑品類（ボルト、パッキン、ウエス、洗油等）、工具（特殊工具含む）、各種材料（電線・電線管類、配管材料、鋼材）、補修用塗料類、理化学器具類、分析用薬品、掃除用具類、記録紙、用紙類、インク、コピー、燃料類（作業用、車両用等）、衛生用品（石鹸、消毒液、救急用薬品）、備品類（連絡用自動車）等も含まれる。
- ウ 物品等の受け入れ立会い
- エ 消耗品の交換
- オ その他物品等の調達・管理に関する業務上必要な業務

(6) 産業廃棄物の収集運搬に関する業務

- ア 本件施設から生じる脱水汚泥、し渣、沈砂等の収集運搬
- イ 脱水汚泥、し渣、沈砂等の搬出時立ち会い、搬出数量の記録

(7) 廃棄物処理に関する業務

- ア 業務上発生した一般廃棄物の管理及び処理
- イ その他廃棄物処理に関する必要な業務

(8) その他の業務

- ア 周辺住民からの苦情対応等
- イ 施設見学会の事前準備（安全対策含む。）（1 回／年程度）
- ウ その他必要な業務

(処理場の特記事項)

第 3 条 当該施設の特記事項を以下に示す。

(1) 尾道市浄化センター

ア 硝化促進運転の実施

アンモニア除去を目的とした硝化促進運転を行うこと。

イ 臭気対策の実施

周辺住民に対して十分な配慮を行い、脱臭設備の設置及び脱水汚泥搬出時の臭気低減対策等を行っているが、日常の運転管理においても細心の注意を払うとともに、必要に応じて脱臭剤を使用し、適切な臭気対策を実施すること。

ウ 雨天時対応

雨天時等増水時におけるポンプの運転操作については、適切に対処し、溢水及び放流水の水質悪化等に留意すること。

(電気主任技術者を選任する施設)

第4条 一般仕様書第15条に規定する電気主任技術者を選任する施設は、業務仕様明細書4に示す施設とする。

(業務の報告等)

第5条 受注者は、一般仕様書第20条に規定する業務報告書等について、特記別表6に従い業務日誌・毎月及び年間の業務報告書を作成し、帳票を含めて発注者に提出するものとする。

2 前項の様式は、受注者の提案に基づき、発注者の承認を得たものとする。

3 受注者は、毎月及び年間の業務報告書の提出にあたっては、発注者が指定する完了届とともに提出すること。

4 受注者は、年間の業務報告書の提出にあたっては、技術提案書に提案した事項に関する達成状況の客観的な評価について報告しなければならない。なお、評価が未達成の場合にあつては、次年度に確実に達成できる実現化方策等の提案を含めること。

5 受注者は、契約終了にあたっては、全業務期間の履行が確認できる資料を添え業務報告書を発注者に提出しなければならない。

6 その他、発注者が求める事項に関する報告書は、その都度速やかに提出すること。

7 書類は日本工業規格A4版又はA3版用紙にて作成するものとする。

(保全管理等要求水準)

第6条 保全管理等要求水準は、施設機能が劣化しないよう、日常的な保守点検等を行うことで、施設の状態を正常な状態に維持すること（ただし、経年劣化を除く）。

契約期間終了時、全ての施設が通常の施設運営を行うことができる機能を有し、著しい損傷がない状態となるよう、関係法令等を遵守した点検、調整、消耗品の交換等を行うこと。

建築物や外構、植栽等の保守管理や清掃については、現状と比べて美観を損なわない程度で行うこと。

定期的な施設機能の確認の場において、発注者と受注者において、指摘事項が発生した場合は、誠意を持って対応する。

(業務実施計画)

第7条 業務実施計画書は、日本工業規格A版により作成し、原則としてA4又はA3用紙とすること。業務実施計画書を構成する各諸事項の作成要領は、次のとおりとすること。

(1) 実施方針

下水道施設の重要性に鑑み、その目的を達成するための委託業務における管理思想、業務毎の基本方針及びその概要等について、委託業務に対する姿勢が把握できるよう記載すること。

(2) 業務実施体制

運転管理業務を遂行する上で必要な組織及び体制について、現場組織、業務分担、緊急時体制、その他業務の履行に要する組織・体制（下請け関係も含む）を、その目的と系統及び分担等が明確に把握できるよう記載すること。

(3) 安全管理体制

事故、災害等を未然に防止し、安全に委託業務を遂行するための安全衛生管理に係る作業基準、安全衛生に関する計画及び組織体制について、基準、要領、計画等を具体的に記載すること。

(4) 運転管理計画

運転管理計画では、対象施設を安定的に維持運営していくために、水質管理計画、エネルギー管理計画、ユーティリティ調達管理計画を記載すること。

水質管理計画では、処理場等の安定的な維持を考慮した設備ごとの運転操作指標、運転方法等を定めた運転操作基準、要求水準を達成するための管理基準、要求水準を満足するための分析計画（水質試験、汚泥試験、悪臭測定等）等を記載すること。

エネルギー管理計画は、処理場等の省エネルギーを目指した設備ごとの運転操作指標、運転方法等を定めた運転操作基準、要求水準を達成するための管理基準等を記載すること。

ユーティリティ調達管理計画は、下水道施設の維持管理を行うために必要な電力、燃料、副資材等の調達方法、使用予定量等を、年間を通じての使用計画が把握できるよう記載すること。

(5) 保安全管理計画

保安全管理計画では、対象施設を安定的に維持運営していくために、保守点検計画、修繕計画を記載すること。

保守点検計画では、設備の状態を把握し、異常の有無を確認する点検基準（日常点検、定期点検、法定点検等）、消耗品等の確認、補充、交換等を行う保守基準を記載すること。

修繕計画では、別紙1に示す全ての電気設備、機械設備、建築設備の修繕（一件当たりの金額が一定額以下のもの）が必要となった場合の対応手順を、具体的に記載すること。

(6) 施設管理計画

施設を安定的に維持運営していくため、清掃の内容・清掃頻度・清掃要領、除草等の内容・頻度・方法、物品管理の方法、要領等その他の必要な事項について、具体的に記載すること。

(7) 情報管理方法

運転管理、保安全管理に係る各種情報の管理方法を記載すること。

(8) 緊急時等への対応

施設に事故が発生した場合その他緊急の場合の対応手順を、具体的に記載すること。以下のような場合について、各々記載する。

- ・大雨時の対応（第9条に示す「対応可能である雨天時浸入水等」の場合と、それを上回る場合を区分して記載する、また、第9条と矛盾しないこと）
- ・悪質流入水の対応（第9条に示す「対応可能な悪質流入水」の場合と、それに該当しない場合を区分して記載する、また、第9条と矛盾しないこと）
- ・その他、自然災害等の不可抗力時の対応

（要求水準を満足しない場合の対応）

第8条

(1) 放流水質

処理水の水質が、受注者の自主採水で判明した場合や計量証明で判明した場合等、別紙5に示す放流水質基準を満足できない場合、以下のような手続きをとる。

第1段階：未達の確認、報告

受注者は、水質測定により放流水質が放流水質契約基準、放流水質法定基準を満たしていないことを把握したら、直ちに発注者に報告する。また、放流水質法定基準を満たしていない場合は、受注者が応急措置を行う。

第2段階：改善期間、改善計画書の提出

・流入水が流入基準を満たしているにもかかわらず、要求水準所に示す放流水質契約基準又は放流水質法定基準が達成されなかったときは、受注者は、原則として主体的に要求水準未達の原因究明を行い、改善措置を行う。また、受注者は改善計画書を作成し発注者に提出する。

・流入水が流入基準を満たさなかった場合においても、受注者は、放流水質契約基準又は放流水質法定基準を達成することができるよう努めるものとし、発注者から指示がある場合はそれに従うものとする。

・原因究明、改善計画書の作成及び実施にかかる費用は、受注者が負担する。ただし、発注者と受注者の双方に責を帰すことができない事由により要求水準が満たせない場合には、受注者は上記に係る費用を発注者に請求することができる。

・受注者は、自らの負担で行う水質測定において、改善措置の効果を確認し、放流水質契約基準を満足できるようになるまで、改善状況を発注者に報告する。

第3段階：業務委託費の減額

- ・流入水が原因である場合及び発注者と受注者の双方に責を帰すことができない事由により要求水準が満たせない

い場合による場合を除き、特記仕様書のとおり業務委託費を減額する。

第4段階：契約解除、違約金

・流入水が原因である場合及び発注者と受注者の双方に責を帰すことができない事由により要求水準が満たせない場合による場合を除き、放流水質契約基準を満足できない状態が60日以上継続する場合、又は改善計画書が期限内に提出されない場合や改善計画書通りに業務を行わない場合、発注者は契約を解除することができる。この場合、受注者は、定められた違約金を支払う。

(2) 汚泥処理基準

脱水ケーキ含水率が、要求水準書に示す契約基準を満足できない場合、以下のような手続きをとる。

第1段階：未達の確認、報告

・受注者は、汚泥含水率分析により契約基準を満たしていないことを把握したら、直ちに発注者に報告する。

第2段階：改善期間、改善計画書の提出

・契約基準未達の場合には、受注者は、原則として主体的に契約基準未達の原因究明を行い、改善措置を行う。また、受注者は改善計画書を作成し発注者に提出する。

・原因究明、改善計画書の作成及び実施にかかる費用は、受注者が負担する。ただし、発注者と受注者の双方に責を帰すことができない事由により契約基準が満たせない場合には、受注者は上記に係る費用を発注者に請求することができる。

・受注者は、自らの負担で行う分析において、改善措置の効果を確認し、契約基準を満足できるようになるまで、改善状況を発注者に報告する。

第3段階：業務委託費の減額

・発注者と受注者の双方に責を帰すことができない事由により契約基準が満たせない場合による場合を除き、特記仕様書のとおり業務委託費を減額する。

第4段階：契約解除、違約金

・発注者と受注者の双方に責を帰すことができない事由により契約基準が満たせない場合による場合を除き、契約基準を満足できない状態が60日以上継続する場合、又は改善計画書が期限内に提出されない場合や改善計画書通りに業務を行わない場合、発注者は契約を解除することができる。この場合、受注者は、定められた違約金を支払う。

(流入基準未達の場合の対応方法)

第9条 受注者が責任を持って対応すべき事態とその対応方法を記載する。

(1) 対応可能な悪質流入水

対応可能な悪質流入水は、以下のとおりとする。

- ・大量の油（臭気又は色で識別できる範囲のもの）
- ・大量の強酸性又は強アルカリ性の薬品（pH計にて検出できる範囲のもの）
- ・大量のきょう雑物

流入ゲートにおける流入水の臭気、色やpHの監視の結果、上記に示すものが流入水に混入していることが判明した場合、受注者は以下の措置をとる。

- ・受注者は、上記の物質がエアレーションタンクへ流入しないよう必要な措置をとるものとする。
- ・速やかに発注者に報告するものとする。

(2) 対応可能である雨天時浸入水等

降雨時には、以下の対応を取る。

- ・受注者は、気象情報を随時確認し、水害発生を事前に把握するほか、沈砂池水位等の監視を行うものとする。（監視個所を規定）
- ・受注者は、流入水の水量が別紙4に示す時間最大流入水量を上回った場合であっても、場内ポンプ場で対応で

きる場合は、適切な運転により処理を行う。

なお、上記の措置で対応できない大雨の場合は、速やかに発注者に報告し、発注者から指示がある場合はそれに従うものとする。

(3) 記載についての留意点

流入基準未達が発生した場合に、受注者が迅速に行動できるよう、対応方法は具体的な手順として記述する。

(引継事項)

第10条 受注者は履行期間を通じて、引継事項を記載した文書を作成する。文書は、対象施設固有の運転管理、点検上の留意点等を次の受注者が把握できるような内容とする。以下の項目に沿って記載すること。

(1) 運転管理計画

- ・水質管理方法
- ・定常時の運転方法
- ・非常時の運転方法
- ・特有の運転方法

(2) 保全管理計画

- ・定常時の保全方法
- ・非常時の保全方法

(3) その他留意事項

- ・特性、固有情報
- ・運転、保全実績 等

(経費の負担)

第11条 受注者が負担すべき経費は、以下のとおりとする。

- (1) 机、椅子、書棚、ロッカー、パソコン、プリンター、コピー機等の事務備品
- (2) 各種用紙、筆記用具、ファイル等の事務用品
- (3) ポット、冷蔵庫、食器棚、茶器、台所用品等の什器及び消耗品
- (4) 各種作業服、各種靴、各種手袋、ヘルメット、安全マスク・保護眼鏡・空気呼吸機等の安全保護具・機器
- (5) 設備点検及び修理に係る点検工具、回路計、懐中電灯等の工具・器具。ただし、特殊工具及び調整・整備に係る資材等は除く。
- (6) モップ、デッキブラシ、水切り等の清掃用具器具
- (7) 電話・FAXの設置工事費及び維持費
- (8) 表9に定める変動費（薬品費、電力料、水道料）
- (9) 表9に定める固定費（消耗品費、燃料費）
- (10) 1件当たり200万円以下の修繕費（総額で年間862万円を限度とする）
- (11) 作業員控室や用具置き場の使用料（有償で貸与する場合）
- (12) 作業員及び事務員の業務管理、現地事務業務等に係わる人件費

(業務委託費の構成と支払い)

第12条 業務委託費の構成と支払いを以下に示す。

(1) 構成と支払い

業務委託料は、水量の増減によるコストの影響を考慮するため、基本的に固定費と変動費で構成される計算方法を採用する。固定費は、人件費や電力基本料金等、処理水量にかかわらず要する費用、変動費は薬品や電力従量料金等、処理水量に応じて変動する費用である。

委託料を令和8年4月分から令和13年3月分の60月分を概ね60等分し、毎月の委託業務終了後、当該月の委託料について請求を受けた日から30日以内に支払う。

(2) 業務委託費の考え方

発注者が受注者に支払う業務委託費は、以下の算式によって算定される。

$$(\text{業務委託費}) = (\text{固定費}) + (\text{変動費})$$

$$(\text{変動費}) = (\text{変動費原単位}) \times (\text{処理水量(実績値)})$$

ここで固定費とは、本施設における流入水量（実績値）の増減にかかわらず変動しない費用をいい、変動費とは、本施設における流入水量（実績値）の増減に応じて比例的に増減する費用をいう。

履行期間中の固定費の合計額と変動費の区分は、表に示すとおりとする。毎事業年度における変動費は、毎事業年度の流入水量の実績値に応じて算出する。

表9 固定費と変動費の区分

	固定費	変動費
薬品費		○
電力料		○
水道料		○
消耗品費	○	
燃料費	○	
通信費	○	
維持管理業務費	○	
汚泥運搬費		○
修繕・保守点検費	○	

(3) 流入水が要求水準書に示す流入基準を満たしている場合

（基準外であるが発注者と受注者で対応可能と合意した場合を含む）

① 放流水質が要求水準書に示す契約基準を満たしている場合、固定費＋変動費の全額を支払う。

② 放流水が要求水準書に示す法定基準又は汚泥処理基準のいずれかを満たしていない場合、業務委託費を減額する。

減額幅は、以下に従って算出する。

- ・ 年間に3回以上契約基準に対する未達がある場合は、当該年度の業務委託費（固定費）を3%減額する。
- ・ 年間に5回以上契約基準に対する未達がある場合、及び2回以上法定基準に対する未達がある場合は、当該年度の業務委託費を8%減額する。

（4）流入水量が要求水準書に示す基準を超えているが、特別な処理等で対応できる場合（第9条の「対応可能である雨天時浸入水等」に相当する場合）

① 流入水量が基準を超えている場合でも、発注者が受注者に支払う業務委託費は、以下の算式によって算定する。

$$(\text{業務委託費}) = (\text{固定費}) + (\text{変動費原単位}) \times (\text{処理水量})$$

② 「対応可能である雨天時浸入水等」に相当する場合、要求水準書に示す契約基準を満たさない場合でも、業務委託費の減額は行わない。この時、放流水が要求水準書に示す法定基準又は汚泥処理基準を満たしていないことによる法令上の罰金等や第三者からの損害賠償は発注者が負担するものとする。

(5) (4)以外に流入水質が要求水準書に示す基準を超えた場合

① 放流水質が要求水準書に示す法定基準を満たし、かつ汚泥処理基準の両方とも満たしている場合、発注者が受注者に支払う業務委託費は、以下の算式によって算定される。

$$(\text{業務委託費}) = (\text{固定費}) + (\text{変動費原単位}) \times (\text{処理水量}) + (\text{追加費用})$$

ここで追加費用とは、流入基準を満たさない流入水を処理して放流水質法定基準を満たすために要する費用をいう。

② 放流水が要求水準書に示す法定基準又は汚泥処理基準のいずれかを満たしていない場合でも、業務委託費の減額は行わない。この時、放流水が要求水準書に示す法定基準又は汚泥処理基準に示す基準を満たしていないことによる法令上の罰金等や第三者からの損害賠償は発注者が負担するものとする。

(6) 第6条に示す保全管理等要求水準に示された業務が履行されていない場合、固定費を減額する。

減額幅は、以下に従って算出する。

減額料＝「固定費」×「業務実施計画不履行日数」÷基準日数241日×0.5

業務実施計画不履行日数とは改善期間終了日の翌日から是正されたことを発注者が確認した日までの日数をいう。委託料の減額は、実施計画不履行が是正されたことを発注者が確認し、委託料の変更協議が整った月の委託料で行う。

(業務の不履行が確認された場合の対応)

第13条 業務実施計画書に記載された業務を履行していないことが確認された場合、以下のような手続きをとる。

(1) 第1段階 業務状況の確認

ア 発注者は、第5条に基づき受注者から提出された各月の報告書により、受注者が業務実施計画書に基づき当該業務を履行していることを確認する。

イ 発注者は、受注者の履行状況について監視を行うために施設に立ち入り、受注者が業務実施計画書に基づき当該業務を履行していることを確認する。

(2) 第2段階 改善措置

ア 発注者は、受注者が業務実施計画書に基づき当該業務を履行していないおそれがある場合、発注者は受注者に説明を求める。その結果、業務実施計画書に基づき、当該業務が履行されていないと発注者が認めた場合、発注者は受注者に是正（業務実施計画書の変更を含む。）を求めることができる。

イ 受注者は前項を受け、速やかに改善計画書を作成し、発注者の確認を受ける。なお、発注者は必要なときには受注者が作成する改善計画書の提出期限を定めることができる。

ウ 受注者は改善計画に従って業務の改善を行う。

エ 受注者は改善がなされた場合、速やかに発注者に報告する。報告を受けた後、発注者は速やかに検査を行い、是正状況を確認する。

オ 改善計画の作成等にかかる費用は受注者が負担するものとする。

(3) 第3段階：発注費の減額

ア 改善計画書に定めた改善期間を過ぎて改善が完了しない場合、発注者は発注費を減額する。

(契約解除)

第14条 業務が困難であると合理的に認められる場合、本契約の解除は以下の場合とする。

(1) 改善計画書が速やか又は発注者が指定した期間内に提出されない場合。

(2) 改善計画書どおりに業務を行わない場合。

(3) 発注者が行う改善措置の指示に従わない場合。

(やむを得ない事由)

第15条 やむを得ない事由を以下のとおりとする。

(1) 自然災害等により施設が破損又は停止し処理機能が得られない場合。

(2) 流入基準を著しく逸脱した流入水が流入したと認められた場合。

2 前項で規定する流入基準を著しく逸脱した流入水が流入したと認められた場合は特記別表7の要件を満たし処理が困難と判断された場合とする。

特記別表1

業務対象施設一覧

No	処理場	備考
No. 1	尾道市浄化センター	※1

No	ポンプ場	備考
No. 1	久保ポンプ場	※1

No	マンホールポンプ等	備考
No. 1	新高山前処理施設	
No. 2	倉ノ内マンホールポンプ	
No. 3	東部漁協マンホールポンプ	
No. 4	浜田地区マンホールポンプ	
No. 5	平原幹線マンホールポンプ	
No. 6	平原地区マンホールポンプ	
No. 7	新浜幹線マンホールポンプ	
No. 8	圧送幹線空気弁	

(備考欄) ※1 電気主任技術者選任施設

特記別表 2

尾道市浄化センター対象機器一覧表（機械No.1）

機器番号	機 器 名 称	設 置 場 所
0010	No.1 流入ゲート	屋外
0020	No.2 流入ゲート	屋外
0030	中間ゲート	低段スクリーン室
0040	No.1 流出ゲート	低段スクリーン室
0050	No.2 流出ゲート	低段スクリーン室
0060	No.1 自動除塵機	低段スクリーン室
0070	No.2 自動除塵機	低段スクリーン室
0080	し渣掻揚機	低段スクリーン室
0150	No.1 スカム攪拌機	低段スクリーン室
0160	No.2 スカム攪拌機	低段スクリーン室
0170	MDサイクロン	搬出室
0180	洗浄機	低段スクリーン室
0190	No.1 し渣搬出コンベヤー	低段スクリーン室
0200	沈砂搬出機	搬出室
0210	洗浄沈砂ポンプ	低段スクリーン室
0220	揚砂ポンプ	低段スクリーン室
0230	低段沈砂池排水ポンプ	低段スクリーン室
0240	空気タンク	搬出室
0250	No.1 エアパージ用空気圧縮機	搬出室
0260	No.2 エアパージ用空気圧縮機	搬出室
0280	エアードライヤー	搬出室
0290	No.1 汚水ポンプ	低段ポンプ室
0300	No.2 汚水ポンプ	低段ポンプ室
0310	No.3 汚水ポンプ	低段ポンプ室

機器番号	機 器 名 称	設 置 場 所
0320	No.4 汚水ポンプ	低段ポンプ室
0330	No.1 汚水ポンプ用電動機	低段ポンプモーター室
0340	No.2 汚水ポンプ用電動機	低段ポンプモーター室
0350	No.3 汚水ポンプ用電動機	低段ポンプモーター室
0360	No.4 汚水ポンプ用電動機	低段ポンプモーター室
0370	No.1 汚水ポンプ逆止弁	低段ポンプ室
0380	No.1 吐出弁	低段ポンプ室
0390	No.2 汚水ポンプ逆止弁	低段ポンプ室
0400	No.2 吐出弁	低段ポンプ室
0410	No.3 汚水ポンプ逆止弁	低段ポンプ室
0420	No.3 吐出弁	低段ポンプ室
0430	No.4 汚水ポンプ逆止弁	低段ポンプ室
0440	No.4 吐出弁	低段ポンプ室
0450	流量計仕切弁（入側）	流量計室
0460	流量計仕切弁（出側）	流量計室
0480	し渣コンテナ搬出用ホイス	ホッパー室
0500	ポンプ井排水ポンプ	低段スクリーン室
0510	低段ポンプ室No.1 床排水ポンプ	低段ポンプ室
0520	低段ポンプ室No.2 床排水ポンプ	低段ポンプ室
0530	No.1 初沈汚泥ポンプ	初沈ポンプ室
0540	No.2 初沈汚泥ポンプ	初沈ポンプ室
0550	分離汚泥バイパス管手動仕切弁	分配槽
0560	分離汚泥バイパス管手動仕切弁	分配槽
0570	分離汚泥バイパス管手動仕切弁	分配槽

特記別表 2

尾道市浄化センター対象機器一覧表（機械No.2）

機器番号	機 器 名 称	設 置 場 所
0 5 8 0	初沈汚泥引抜弁No.1	初沈ポンプ室
0 5 9 0	初沈床排水ポンプ	初沈ポンプ室
0 6 0 0	エアードライヤー	初沈ポンプ室
0 6 1 0	No.1 初沈空気圧縮機	初沈ポンプ室
0 6 2 0	No.2 初沈空気圧縮機	初沈ポンプ室
0 6 3 0	初沈流入ゲート	分配槽
0 6 4 0	初沈汚泥掻寄機	最初沈澱池
0 6 7 0	反応槽床排水ポンプ	管廊
0 6 8 0	No.1－1 反応槽流入可動堰	生物反応槽
0 6 9 0	No.1－2 反応槽流入可動堰	生物反応槽
0 7 0 0	No.1－3 反応槽流入可動堰	生物反応槽
0 7 1 0	No.1－4 反応槽流入可動堰	生物反応槽
0 7 2 0	No.2－1 反応槽流入可動堰	生物反応槽
0 7 3 0	No.2－2 反応槽流入可動堰	生物反応槽
0 7 4 0	No.1 反応槽返送汚泥可動堰	生物反応槽
0 7 5 0	No.2 反応槽返送汚泥可動堰	生物反応槽
0 7 6 0	反応槽バイパスゲート	生物反応槽
0 7 7 0	No.1－1 散気板	生物反応槽
0 7 8 0	No.1－2 散気板	生物反応槽
0 7 9 0	No.1－3 散気板	生物反応槽
0 8 0 0	No.1－4 散気板	生物反応槽
0 8 1 0	No.1－5 散気板	生物反応槽
0 8 2 0	No.1－6 散気板	生物反応槽
0 8 3 0	No.1－7 散気板	生物反応槽

機器番号	機 器 名 称	設 置 場 所
0 8 4 0	No.1－8 散気板	生物反応槽
0 8 5 0	No.2－3 散気板	生物反応槽
0 8 6 0	No.2－4 散気板	生物反応槽
0 8 7 0	No.2－6 散気板	生物反応槽
0 8 8 0	No.2－7 散気板	生物反応槽
0 8 9 0	No.2－8 散気板	生物反応槽
0 9 0 0	No.2－1 水中エアレータ	生物反応槽
0 9 1 0	No.2－2 水中エアレータ	生物反応槽
0 9 2 0	No.2－3 水中エアレータ	生物反応槽
0 9 3 0	No.1 反応槽送風切替弁	管廊
0 9 4 0	No.2 反応槽送風切替弁	管廊
0 9 5 0	No.1 反応槽送気弁	管廊
0 9 6 0	No.2 反応槽送気弁	管廊
0 9 9 0	No.2－1 散気装置吊上げ装置	生物反応槽
1 0 0 0	No.2－2 散気装置吊上げ装置	生物反応槽
1 0 1 0	No.2－3 散気装置吊上げ装置	生物反応槽
1 0 4 0	No.3 送風機	ブロワー室
1 0 5 0	No.4 送風機	ブロワー室
1 0 6 0	湿式空気ろ過機	フィルター室
1 0 7 0	乾式空気ろ過機	フィルター室
1 1 0 0	No.3 送風機逆止弁	ブロワー室
1 1 1 0	No.3 送風機吸込弁	ブロワー室
1 1 2 0	No.3 送風機風量制御装置	ブロワー室
1 1 3 0	No.3 送風機吐出弁	ブロワー室

特記別表 2

尾道市浄化センター対象機器一覧表（機械No.3）

機器番号	機 器 名 称	設 置 場 所
1 1 4 0	No.4 送風機逆止弁	ブロワー室
1 1 5 0	No.4 送風機吸込弁	ブロワー室
1 1 6 0	No.4 送風機風量制御装置	ブロワー室
1 1 7 0	No.4 送風機吐出弁	ブロワー室
1 1 8 0	No.3 送風機吊上装置	ブロワー室
1 1 9 0	No.4 送風機吊上装置	ブロワー室
1 2 0 0	No.1－1 終沈流入ゲート	最終沈澱池
1 2 1 0	No.1－2 終沈流入ゲート	最終沈澱池
1 2 2 0	No.2－1 終沈流入ゲート	最終沈澱池
1 2 3 0	No.2－2 終沈流入ゲート	最終沈澱池
1 2 4 0	処理水取水ゲート	最終沈澱池
1 2 5 0	塩素混和池バイパスゲート	塩素混和池
1 2 6 0	No.1－1 終沈汚泥掻寄機	最終沈澱池
1 2 7 0	No.1－2 終沈汚泥掻寄機	最終沈澱池
1 2 8 0	No.2－1 終沈汚泥掻寄機	最終沈澱池
1 2 9 0	No.2－2 終沈汚泥掻寄機	最終沈澱池
1 3 0 0	No.1－1 終沈スカムスキーマ	最終沈澱池
1 3 1 0	No.1－2 終沈スカムスキーマ	最終沈澱池
1 3 2 0	No.2－1 終沈スカムスキーマ	最終沈澱池
1 3 3 0	No.2－2 終沈スカムスキーマ	最終沈澱池
1 3 4 0	No.1 返送汚泥ポンプ	管廊
1 3 5 0	No.2 返送汚泥ポンプ	管廊
1 3 6 0	No.3 返送汚泥ポンプ	管廊
1 3 7 0	No.4 返送汚泥ポンプ	管廊

機器番号	機 器 名 称	設 置 場 所
1 3 8 0	No.1 余剰汚泥ポンプ	管廊
1 3 9 0	No.2 余剰汚泥ポンプ	管廊
1 4 0 0	連通弁	管廊
1 4 1 0	No.1－1 溢流弁	最終沈澱池
1 4 2 0	No.1－2 溢流弁	最終沈澱池
1 4 3 0	No.2－1 溢流弁	最終沈澱池
1 4 4 0	No.2－2 溢流弁	最終沈澱池
1 4 5 0	返送汚泥調節弁	管廊
1 4 6 0	終沈床排水ポンプ	管廊
1 4 7 0	No.1 終沈集中給油装置（前側）	最終沈澱池
1 4 8 0	No.1 終沈集中給油装置（後側）	最終沈澱池
1 4 9 0	No.2 終沈集中給油装置（前側）	最終沈澱池
1 5 0 0	No.2 終沈集中給油装置（後側）	最終沈澱池
1 5 1 0	次亜塩素酸ソーダ貯槽	滅菌棟
1 5 2 0	No.1 次亜塩素注入ポンプ	滅菌棟
1 5 3 0	No.2 次亜塩素注入ポンプ	滅菌棟
1 5 4 0	用水No.1 急速ろ過装置	屋外
1 5 5 0	用水No.2 急速ろ過装置	屋外
1 5 6 0	No.1 用水原水ポンプ	管廊
1 5 7 0	No.1－1 用水加圧ポンプ	管廊
1 5 8 0	No.1－2 用水加圧ポンプ	管廊
1 5 9 0	No.1－1 用水圧送ポンプ	管廊
1 6 0 0	No.1－2 用水圧送ポンプ	管廊
1 6 1 0	No.2 用水原水ポンプ	管廊

特記別表 2

尾道市浄化センター対象機器一覧表（機械No.4）

機器番号	機 器 名 称	設 置 場 所
1 6 2 0	No.2－1 用水圧送ポンプ	管廊
1 6 3 0	No.2－1 用水加圧ポンプ	管廊
1 6 4 0	No.2－2 用水加圧ポンプ	管廊
1 6 5 0	No.3 用水原水ポンプ	管廊
1 6 6 0	No.1－1 用水圧送ポンプ ストレーナ	管廊
1 6 7 0	No.1－2 用水圧送ポンプ ストレーナ	管廊
1 6 8 0	No.2－1 用水圧送ポンプ ストレーナ	管廊
1 6 9 0	No.1 原水ポンプ ストレーナ	管廊
1 7 0 0	No.2 原水ポンプ ストレーナ	管廊
1 7 1 0	No.1-1 用水圧送ポンプ ストレーナ電動弁	管廊
1 7 2 0	No.1-2 用水圧送ポンプ ストレーナ電動弁	管廊
1 7 3 0	No.2-1 用水圧送ポンプ ストレーナ電動弁	管廊
1 7 4 0	No.1 原水ポンプ ストレーナ電動弁	管廊
1 7 5 0	No.2 原水ポンプ ストレーナ電動弁	管廊
1 7 6 0	No.1 用水床排水ポンプ	管廊
1 7 7 0	No.2 用水床排水ポンプ	管廊
1 7 8 0	用水加圧タンク	管廊
1 7 9 0	No.1 用水用空気圧縮機	管廊
1 8 0 0	No.2 用水用空気圧縮機	管廊
1 8 1 0	除湿機	管廊
1 8 2 0	低段脱臭ファン	ポンプ棟
1 8 3 0	水処理土壌脱臭ファン	屋外
1 8 4 0	土壌脱臭散水用電動弁	土壌脱臭床
1 8 5 0	土壌脱臭装置	土壌脱臭床

機器番号	機 器 名 称	設 置 場 所
1 8 6 0	脱臭装置	機械棟
1 8 7 0	土壌脱臭散水用電動弁	屋外
1 8 8 0	土壌脱臭装置	屋外
1 8 9 0	脱臭ファン	機械棟
1 9 0 0	ミストセパレータ	機械棟
1 9 1 0	ケーキホッパー	搬出室
1 9 3 0	ドライエリア床排水ポンプ	機械棟
1 9 4 0	汚泥脱水床排水ポンプ	機械棟
1 9 5 0	汚泥脱水床排水ポンプ	機械棟
1 9 6 0	No.1 濃縮汚泥掻寄機	重力濃縮槽
1 9 7 0	No.1 濃縮汚泥ポンプ	重力濃縮棟
1 9 8 0	No.2 濃縮汚泥ポンプ	重力濃縮棟
1 9 9 0	No.1 汚泥供給ポンプ	機械棟
2 0 0 0	No.2 汚泥供給ポンプ	機械棟
2 0 1 0	No.3 汚泥供給ポンプ	機械棟
2 0 4 0	No.1 濃縮汚泥引抜弁	重力濃縮棟
2 0 6 0	濃縮棟床排水ポンプ	重力濃縮棟
2 0 7 0	No.1 汚泥貯留槽攪拌機	機械棟
2 0 8 0	No.2 汚泥貯留槽攪拌機	機械棟
2 0 9 0	No.1 薬品溶解タンク	薬注室
2 1 0 0	No.2 薬品溶解タンク	薬注室
2 1 1 0	No.1 薬品供給機	薬注室
2 1 2 0	No.2 薬品供給機	薬注室
2 1 3 0	No.1 薬品注入ポンプ	薬注室

特記別表 2

尾道市浄化センター対象機器一覧表（機械No.5）

機器番号	機 器 名 称	設 置 場 所
2 1 4 0	No.2 薬品注入ポンプ	薬注室
2 1 5 0	No.3 薬品注入ポンプ	薬注室
2 1 6 0	No.1 薬品供給機給水弁	薬注室
2 1 7 0	No.2 薬品供給機給水弁	薬注室
2 1 8 0	No.1 薬品溶解タンク給水弁	薬注室
2 1 9 0	No.2 薬品溶解タンク給水弁	薬注室
2 2 0 0	No.1 薬品溶解タンク攪拌機	薬注室
2 2 1 0	No.2 薬品溶解タンク攪拌機	薬注室
2 2 2 0	No.1 汚泥脱水機	脱水機室
2 2 6 0	No.2 汚泥脱水機	脱水機室
2 3 1 0	No.1 ケーキ搬出コンベアー	脱水機室
2 3 2 0	No.2 ケーキ搬出コンベアー	脱水機室
2 3 3 0	No.1 ケーキ移送ポンプ	脱水機室
2 3 4 0	No.2 ケーキ移送ポンプ	脱水機室
2 3 5 0	No.1 ろ布洗浄ポンプ	機械棟
2 3 6 0	No.2 ろ布洗浄ポンプ	機械棟
2 3 7 0	No.1 ケーキ搬出コンベアー洗浄水電動弁	脱水機室
2 3 8 0	No.1 汚泥脱水機ろ布洗浄弁	脱水機室
2 3 9 0	No.2 汚泥脱水機ろ布洗浄弁	脱水機室
2 4 0 0	No.2 汚泥脱水機凝集装置洗浄弁	脱水機室
2 4 1 0	No.1 汚泥脱水機空気圧縮機	脱水機室
2 4 4 0	No.2 汚泥脱水機空気圧縮機	脱水機室
2 4 6 0	空気タンク 1 5 0 L	脱水機室
2 4 7 0	空気圧縮機用エヤードライヤー	脱水機室

[illegible]

特記別表 2

尾道市浄化センター対象機器一覧表（機械No.6）

機器番号	機 器 名 称	設 置 場 所
B 0 0 1 0	No. 2 初沈流入可動堰	分配槽
B 0 0 2 0	No. 2 初沈汚泥かき寄せ機	最初沈澱池
B 0 0 3 0	初沈汚泥引抜弁	初沈ポンプ室
B 0 0 4 0	B系No. 1 反応槽流入可動堰	生物反応槽
B 0 0 5 0	B系No. 2 反応槽流入可動堰	生物反応槽
B 0 0 6 0	B－1 攪拌曝気装置	生物反応槽
B 0 0 7 0	B－2 攪拌曝気装置	生物反応槽
B 0 0 8 0	B－3 攪拌曝気装置	生物反応槽
B 0 0 9 0	B－1 固定式散気板	生物反応槽
B 0 1 0 0	B－2 固定式散気板	生物反応槽
B 0 1 1 0	B－3 固定式散気板	生物反応槽
B 0 1 2 0	B－4 固定式散気板	生物反応槽
B 0 1 3 0	反応槽送気弁	管廊
B 0 1 4 0	返送汚泥水路散気装置	返送汚泥水路
B 0 1 5 0	返送汚泥流入可動堰	生物反応槽
B 0 1 6 0	No. 5 送風機	ブロワー室
B 0 1 7 0	No. 5 送風機吐出弁	ブロワー室
B 0 1 8 0	No. 5 送風機吊上装置	ブロワー室
B 0 1 9 0	B－1 曝気装置吊上装置	生物反応槽
B 0 2 0 0	B－2 曝気装置吊上装置	生物反応槽
B 0 2 1 0	B－3 曝気装置吊上装置	生物反応槽
B 0 2 2 0	B系終沈入流ゲート	最終沈澱池
B 0 2 3 0	B系終沈汚泥かき寄せ機	最終沈澱池
B 0 2 4 0	B系スカムスキマー	最終沈澱池

機器番号	機 器 名 称	設 置 場 所
B 0 2 5 0	汚泥引抜弁	管廊
B 0 2 6 0	B系No. 1 返送汚泥ポンプ	管廊
B 0 2 7 0	B系No. 2 返送汚泥ポンプ	管廊
B 0 2 8 0	B系No. 1 余剰汚泥ポンプ	管廊
B 0 2 9 0	B系No. 2 余剰汚泥ポンプ	管廊
B 0 3 0 0	B系No. 1 反応タンク床排水ポンプ	管廊
B 0 3 1 0	B系No. 2 反応タンク床排水ポンプ	管廊
B 0 3 2 0	B系No. 1 終沈床排水ポンプ	管廊
B 0 3 3 0	B系No. 2 終沈床排水ポンプ	管廊
B 0 3 4 0	No. 2 最初沈澱池覆蓋	最初沈澱池
B 0 3 5 0	B系No. 1 脱臭ファン	管廊
B 0 3 6 0	No. 2 土壌脱臭床	屋外
B 0 3 7 0	B系No. 1 バイパスゲート	屋外
B 0 3 8 0	電油操作弁	管廊
B 0 3 9 0	電気室給気ファン	B系電気室
B 0 4 0 0	電気室排気ファン	B系電気室
B 0 4 1 0	B系電気室空調機	B系電気室
B 0 4 1 0	送風機室給気ファン	ブロワー室

特記別表 2

尾道市浄化センター対象機器一覧表（機械No.7）

機器番号	機 器 名 称	設 置 場 所
K 0 0 1 0	スクリーンユニット	機械濃縮棟
K 0 0 2 0	No.1汚泥混合貯留槽攪拌機	機械濃縮棟
K 0 0 3 0	No.2汚泥混合貯留槽攪拌機	機械濃縮棟
K 0 0 4 0	No.1汚泥供給ポンプ	機械濃縮棟
K 0 0 5 0	No.2汚泥供給ポンプ	機械濃縮棟
K 0 0 6 0	汚泥濃縮機	機械濃縮棟
K 0 0 7 0	No.1薬品溶解タンク	機械濃縮棟
K 0 0 8 0	No.2薬品溶解タンク	機械濃縮棟
K 0 0 9 0	No.1薬品定量供給機	機械濃縮棟
K 0 1 0 0	No.2薬品定量供給機	機械濃縮棟
K 0 1 1 0	No.1薬品供給ポンプ	機械濃縮棟
K 0 1 2 0	No.2薬品供給ポンプ	機械濃縮棟
K 0 1 3 0	No.1機械濃縮汚泥貯留槽攪拌機	機械濃縮棟
K 0 1 4 0	No.2機械濃縮汚泥貯留槽攪拌機	機械濃縮棟
K 0 1 5 0	No.1濃縮汚泥移送ポンプ	機械濃縮棟
K 0 1 6 0	No.2濃縮汚泥移送ポンプ	機械濃縮棟
K 0 1 7 0	No.1床排水ポンプ	機械濃縮棟
K 0 1 8 0	No.2床排水ポンプ	機械濃縮棟
K 0 1 9 0	No.1空気圧縮機	機械濃縮棟
K 0 2 0 0	No.2空気圧縮機	機械濃縮棟
K 0 2 1 0	除湿器	機械濃縮棟
K 0 2 2 0	機器搬入用吊上装置	機械濃縮棟
K 0 2 3 0	汚泥濃縮機器吊上装置	機械濃縮棟
K 0 2 4 0	床排水ポンプ吊上装置	機械濃縮棟

[illegible]

特記別表 2

尾道市浄化センター対象機器一覧表（電気No.1）

機器番号	機 器 名 称	設 置 場 所
0010	PAS	屋外
0020	コンデンサ盤（1）	受電室
0030	動力分岐盤（1）	受電室
0040	動力分岐盤（2）	受電室
0050	動力変圧器盤（1）	受電室
0060	動力変圧器盤（2）	受電室
0070	動力変圧器盤（3）	受電室
0080	照明変圧器一次盤	受電室
0090	受電盤	受電室
0100	No.1 動力変圧器一次盤	受電室
0110	No.2 動力変圧器	受電室
0120	受変電中継端子盤	受電室
0130	6 kV 引込盤	受電室
0140	発電機引込盤	受電室
0150	母線連絡盤	受電室
0160	照明変圧器盤	受電室
0170	200V 動力盤	受電室
0180	照明分岐盤	受電室
0190	減速機	発電機置場
0200	自動始動盤	発電機室
0210	ガスタービン（発電装置）	発電機置場
0220	交流発電機	発電機置場
0230	ガスタービン	発電機置場
0240	タービンスターター	発電機置場

機器番号	機 器 名 称	設 置 場 所
0250	発電機盤	発電機室
0260	始動用直流電源盤	発電機室
0270	ZPC・C系No.1 分岐盤	受電室
0280	燃料移送ポンプ操作盤	発電機室
0290	No.1 燃料移送ポンプ	発電機置場
0300	No.2 燃料移送ポンプ	発電機置場
0310	燃料小出槽	受電室
0320	地下タンク	屋外
0330	補機盤	受電室
0350	終沈補助継電器盤（1）	電気室
0360	終沈補助継電器盤（2）	電気室
0370	沈砂池・ポンプ中継端子盤（1）	受電室
0380	沈砂池・ポンプ中継端子盤（2）	受電室
0390	初沈・用水中継端子盤（1）	電気室
0400	初沈・用水中継端子盤（2）	電気室
0410	沈砂池ポンプ電源分岐盤	電気室
0420	沈砂池ポンプ・シーケンスコントローラ盤	受電室
0430	初沈・送風機中継端子盤（1）	電気室
0440	初沈・送風機中継端子盤（2）	電気室
0450	沈砂池補助継電器盤（1）	電気室
0460	沈砂池補助継電器盤（1）	電気室
0470	低段ポンプ補助継電器盤	受電室
0480	初沈補助継電器盤	電気室
0490	滅菌・用水補助継電器盤（1）	電気室

特記別表 2

尾道市浄化センター対象機器一覧表（電気No.2）

機器番号	機 器 名 称	設 置 場 所
0500	滅菌・用水補助継電器盤（2）	電気室
0510	汚泥脱水補助継電器盤（1）	電気室
0520	汚泥濃縮補助継電器盤（1）	電気室
0530	送風機補助継電器盤（1）	電気室
0540	送風機補助継電器盤（2）	電気室
0550	機械棟作業用電源	脱水機室
0560	汚泥処理中継端子盤（1）	電気室
0570	汚泥処理中継端子盤（2）	電気室
0580	沈砂池コントロールセンタ	電気室
0590	沈砂池コントロールセンタ	電気室
0600	沈砂池コントロールセンタ	電気室
0610	滅菌・用水コントロールセンタ	電気室
0620	滅菌・用水コントロールセンタ	電気室
0630	滅菌・用水コントロールセンタ	電気室
0640	最終沈澱池コントロールセンタ	電気室
0650	最終沈澱池コントロールセンタ	電気室
0660	最終沈澱池コントロールセンタ	電気室
0670	最終沈澱池コントロールセンタ	電気室
0680	低段ポンプコントロールセンタ	電気室
0690	低段ポンプコントロールセンタ	電気室
0700	最初沈澱池コントロールセンタ	電気室
0710	最初沈澱池コントロールセンタ	電気室
0720	汚泥濃縮コントロールセンタ	電気室
0730	汚泥濃縮コントロールセンタ	電気室

機器番号	機 器 名 称	設 置 場 所
0740	汚泥脱水コントロールセンタ	電気室
0750	汚泥脱水コントロールセンタ	電気室
0760	汚泥脱水コントロールセンタ	電気室
0770	送風機設備コントロールセンタ	電気室
0780	送風機設備コントロールセンタ	電気室
0790	送風機設備コントロールセンタ	電気室
0800	低段ポンプ設備コントロールセンタ	電気室
0810	終沈・用水シーケンスコントローラ（1）	電気室
0820	終沈・用水シーケンスコントローラ（2）	電気室
0830	初沈・送風機シーケンスコントローラ（1）	電気室
0840	初沈・送風機シーケンスコントローラ（2）	電気室
0850	汚泥処理設備シーケンスコントローラ	電気室
0860	汚泥脱水コントロールセンタ	電気室
0870	汚泥貯留槽攪拌機操作盤	管廊
0880	初沈汚泥ポンプ操作盤	初沈ポンプ室
0890	エアタン作業用電源	管廊
0900	用水床排水ポンプ操作盤	管廊
0910	終沈作業用電源	管廊
0920	ポンプ井No.1 排水ポンプ操作盤	電気室
0930	初沈ポンプ室空気圧縮機操作盤	初沈ポンプ室
0940	低段ポンプモーター室作業用電源	ポンプモーター室
0950	用水No.1 圧送ポンプ操作盤	管廊
0960	用水No.2 圧送ポンプ操作盤	管廊
0970	初沈ポンプ室作業用電源	初沈ポンプ室

特記別表 2

尾道市浄化センター対象機器一覧表（電気No.3）

機器番号	機 器 名 称	設 置 場 所
0 9 8 0	用水用空気圧縮機操作盤	管廊
0 9 9 0	低段ポンプ室床排水ポンプ操作盤	低段ポンプ室
1 0 0 0	沈砂池作業用電源	スクリーン室
1 0 1 0	用水原水ポンプ操作盤	管廊
1 0 2 0	終沈汚泥返送ポンプ操作盤	管廊
1 0 3 0	自動除塵機操作盤	スクリーン室
1 0 4 0	終沈No.1, 2送風機操作盤	管廊
1 0 5 0	洗浄沈砂ポンプ操作盤	スクリーン室
1 0 6 0	終沈余剰汚泥ポンプ操作盤	管廊
1 0 7 0	沈砂池排水ポンプ操作盤	スクリーン室
1 0 8 0	終沈汚泥掻寄機操作盤	最終沈澱池
1 0 9 0	用水No.1 急速ろ過装置操作盤	塩素混和池
1 1 0 0	用水No.1 急速ろ過装置操作盤	塩素混和池
1 1 1 0	用水作業用電源	塩素混和池
1 1 2 0	初沈ポンプ室床排水ポンプ操作盤	初沈ポンプ室
1 1 3 0	沈砂搬出機操作盤	搬出室
1 1 4 0	No.1 スカム攪拌機操作盤	スクリーン室
1 1 5 0	し渣搬出コンベア操作盤	スクリーン室
1 1 6 0	No.1, 2汚水ポンプ操作盤	ポンプモーター室
1 1 7 0	低段流入ゲート操作盤	屋外
1 1 8 0	初沈スカム分離機操作盤	分配槽
1 1 9 0	初沈汚泥掻寄機操作盤	最初沈澱池
1 2 0 0	エアタン床排水ポンプ操作盤	管廊
1 2 1 0	洗浄機操作盤	スクリーン室

機器番号	機 器 名 称	設 置 場 所
1 2 2 0	終沈床排水ポンプ操作盤	管廊
1 2 3 0	終沈返送汚泥調節弁操作盤	管廊
1 2 4 0	揚砂ポンプ操作盤	スクリーン室
1 2 5 0	低段脱臭ファン操作盤	脱臭機室
1 2 6 0	汚泥脱臭ファン操作盤	脱臭機室
1 2 7 0	ケーキホッパー操作盤	搬出室
1 2 8 0	ケーキ移送ポンプ操作盤	脱水機室
1 2 9 0	汚泥脱水作業用電源	管廊
1 3 0 0	ろ布洗浄ポンプ操作盤	管廊
1 3 1 0	薬品溶解タンク操作盤	薬注室
1 3 2 0	汚泥供給ポンプ操作盤	管廊
1 3 3 0	薬品注入ポンプ操作盤	薬注室
1 3 4 0	水道水压送ポンプ操作盤	管廊
1 3 5 0	ドライエリア排水ポンプ操作盤	機械棟
1 3 6 0	濃縮No.1 汚泥掻寄機操作盤	濃縮タンク
1 3 7 0	No.1 脱水機操作盤	脱水機室
1 3 8 0	No.2 脱水機操作盤	脱水機室
1 3 9 0	汚泥濃縮槽作業用電源	濃縮タンク
1 4 0 0	汚泥濃縮床排水ポンプ操作盤	濃縮タンク
1 4 1 0	No.1 ケーキ搬出コンベア操作盤	脱水機室
1 4 2 0	汚泥脱水床排水ポンプ操作盤	管廊
1 4 3 0	汚泥脱水機空気圧縮機操作盤	脱水機室
1 4 4 0	濃縮汚泥ポンプ操作盤	濃縮タンク
1 4 5 0	No.3, 4 汚水ポンプ操作盤	ポンプモーター室

特記別表 2

尾道市浄化センター対象機器一覧表（電気No.4）

機器番号	機 器 名 称	設 置 場 所
1 4 6 0	終沈作業用電源	最終沈澱池
1 4 7 0	No. 3, 4 送風機操作盤	ブロワー室
1 4 8 0	汚泥濃縮槽作業用電源	濃縮タンク
1 4 9 0	次亜塩素注入ポンプ操作盤	次亜塩タンク室
1 5 0 0	No. 2 スカム攪拌機操作盤	スクリーン室
1 5 1 0	No. 2 終沈汚泥掻寄機操作盤	最終沈澱池
1 5 2 0	反応槽送気弁操作盤	管廊
1 5 3 0	用水No. 2 圧送ポンプ操作盤	管廊
1 5 4 0	No. 1 脱臭ファン操作盤	分配槽
1 5 5 0	No. 2 散気装置操作盤	生物反応槽
1 5 6 0	揚砂ポンプ用電気チェンブロック	スクリーン室
1 5 7 0	汚泥貯留槽作業用電源	管 廊
1 5 8 0	No. 3 送風機計器盤	ブロワー室
1 5 9 0	No. 4 送風機計器盤	ブロワー室
1 6 0 0	直流電源盤	電気室
1 6 1 0	沈砂池ポンプ電源分岐盤	電気室
1 6 2 0	流入渠水位計	脱臭機室
1 6 3 0	返送汚泥ピットレベル計	管廊
1 6 4 0	処理水槽レベル計	管廊
1 6 5 0	ポンプ井レベル計	スクリーン室
1 6 6 0	ポンプ井レベル計	スクリーン室
1 6 7 0	No. 1 貯留槽液位計	管廊
1 6 8 0	No. 2 貯留槽液位計	管廊
1 6 9 0	次亜塩貯留量計	次亜塩タンク室

機器番号	機 器 名 称	設 置 場 所
1 7 0 0	No. 1 薬品溶解タンク液位計	薬注室
1 7 1 0	重量タンク貯油量計	屋外
1 7 2 0	No. 2 薬品溶解タンク液位計	薬注室
1 7 3 0	No. 1 返送汚泥流量計	管廊
1 7 4 0	余剰汚泥流量計	管廊
1 7 5 0	揚水流量計	流量計室
1 7 6 0	総送風量計	管 廊
1 7 7 0	No. 1 薬液供給量計	薬注室
1 7 8 0	No. 2 薬液供給量計	薬注室
1 7 9 0	No. 1 次亜塩注入量計	次亜塩タンク室
1 8 0 0	No. 2 次亜塩注入量計	次亜塩タンク室
1 8 1 0	No. 1 汚泥供給量計	管廊
1 8 2 0	No. 2 汚泥供給量計	管廊
1 8 3 0	No. 3 送風量計	ブロワー室
1 8 4 0	No. 4 送風量計	ブロワー室
1 8 5 0	濃縮汚泥引抜流量計	濃縮タンク
1 8 6 0	放流流量計	塩素混和池
1 8 7 0	No. 1 反応槽風量計	管廊
1 8 8 0	No. 2 反応槽風量計	管廊
1 8 9 0	送風圧力計	管廊
1 9 0 0	No. 3 ～No. 6 送風圧力計	ブロワー室
1 9 1 0	No. 1 反応槽送気圧力計	管廊
1 9 2 0	初沈汚泥引抜流量計	初沈ポンプ室
1 9 3 0	No. 2 反応槽送気圧力計	管廊

特記別表 2

尾道市浄化センター対象機器一覧表（電気No.5）

機器番号	機 器 名 称	設 置 場 所
1 9 4 0	送風温度計	管廊
1 9 5 0	No.3 送風温度計	ブロー室
1 9 6 0	ケーキホッパー重量計	搬出室
1 9 7 0	UV計	塩素混和池
1 9 8 0	残塩計	塩素混和池
1 9 9 0	No.1 DO計	生物反応槽
2 0 1 0	No.2 DO計	生物反応槽
2 0 2 0	供給汚泥濃度計	管廊
2 0 3 0	No.1 返送汚泥濃度計	管廊
2 0 4 0	No.1 MLSS計	生物反応槽
2 0 5 0	No.2 MLSS計	生物反応槽
2 0 6 0	初沈汚泥濃度計	初沈ポンプ室
2 0 7 0	全窒素・全りん自動測定器	塩素混和池
2 0 8 0	自動採水器	屋外
2 0 9 0	風向・風速計	屋上
2 0 0 0	気温計	屋外
2 1 0 0	雨量計	屋外
2 1 1 0	中央計装盤	中央監視室
2 1 2 0	現場計装盤	電気室
2 1 3 0	インバータ盤	中央監視室
2 1 4 0	遠方監視盤	中央監視室
2 1 5 0	汚泥脱水機設備コントロールセンタ	電気室
2 1 6 0	汚泥脱水機設備補助継電器盤	電気室
2 1 7 0	汚泥供給ポンプ操作盤	管廊

[illegible]

特記別表 2

尾道市浄化センター対象機器一覧表（電気No.6）

機器番号	機 器 名 称	設 置 場 所
B 0 0 1 0	L C D監視制御装置	管理棟
B 0 0 2 0	No. 2 コンデンサ盤	受電室
B 0 0 3 0	送風機設備（２）コントロールセンタ	電気室
B 0 0 4 0	送風機設備（２）補助継電気盤	電気室
B 0 0 5 0	送風機設備（２）計装変換器盤	電気室
B 0 0 6 0	No. 5 送風機盤	ブロワー室
B 0 0 7 0	No. 2 初沈汚泥掻き寄せ機盤	最初沈澱池
B 0 0 8 0	No. 2 初沈汚泥引抜弁盤	初沈ポンプ室
B 0 0 9 0	B系反応槽送気弁盤	管廊
B 0 1 0 0	B系No. 1 反応タンク床排水ポンプ盤	管廊
B 0 1 1 0	B系No. 2 反応タンク床排水ポンプ盤	管廊
B 0 1 2 0	B系No. 1 脱臭ファン盤	管廊
B 0 1 3 0	B系水処理設備コントロールセンタ	B系電気室
B 0 1 4 0	B系水処理設備補助継電器	B系電気室
B 0 1 5 0	B系水処理設備シーケンスコントローラ	B系電気室
B 0 1 6 0	B系水処理設備計装変換器盤	B系電気室
B 0 1 7 0	B系水処理U P S	B系電気室
B 0 1 8 0	No. 3 散気装置盤	生物反応槽
B 0 1 9 0	B系No. 1 終沈汚泥引抜弁盤	管廊
B 0 2 0 0	B系No. 1 ～ 3 返送汚泥ポンプ盤	管廊
B 0 2 1 0	B系No. 1 ～ 2 余剰汚泥ポンプ盤	管廊
B 0 2 2 0	B系No. 1 終沈床排水ポンプ盤	管廊
B 0 2 3 0	B系No. 2 終沈床排水ポンプ盤	管廊
B 0 2 4 0	B系終沈汚泥掻き寄せ機盤	生物反応槽

[illegible]

特記別表 2

尾道市浄化センター対象機器一覧表（電気No.7）

機器番号	機 器 名 称	設 置 場 所
K 0 0 1 0	機械濃縮設備コントロールセンタ	機械濃縮棟
K 0 0 2 0	機械濃縮設備補助継電器盤	機械濃縮棟
K 0 0 3 0	機械濃縮設備リモート盤	機械濃縮棟
K 0 0 4 0	機械濃縮設備計装変換器盤	機械濃縮棟
K 0 0 5 0	汚泥混合貯留槽攪拌機盤	機械濃縮棟
K 0 0 6 0	濃縮汚泥供給ポンプ盤	機械濃縮棟
K 0 0 7 0	薬品溶解タンク盤	機械濃縮棟
K 0 0 8 0	薬品供給ポンプ盤	機械濃縮棟
K 0 0 9 0	機械濃縮汚泥貯留槽攪拌機盤	機械濃縮棟
K 0 1 0 0	濃縮汚泥移送ポンプ盤	機械濃縮棟
K 0 1 1 0	床排水ポンプ盤	機械濃縮棟
K 0 1 2 0	空気圧縮機盤	機械濃縮棟
K 0 1 3 0	脱臭ファン盤	機械濃縮棟
K 0 1 4 0	汚泥切替弁表示灯盤	管廊
K 0 1 5 0	作業用電源盤（1F）	機械濃縮棟
K 0 1 6 0	作業用電源盤（B1F）	機械濃縮棟
K 0 1 7 0	No.1汚泥混合貯留槽液位計	機械濃縮棟
K 0 1 8 0	No.2汚泥混合貯留槽液位計	機械濃縮棟
K 0 1 9 0	No.1濃縮機汚泥供給濃度計	機械濃縮棟
K 0 2 0 0	No.1濃縮機汚泥供給量計	機械濃縮棟
K 0 2 1 0	No.1薬品溶解タンク液位計	機械濃縮棟
K 0 2 2 0	No.2薬品溶解タンク液位計	機械濃縮棟
K 0 2 3 0	No.1薬品供給量計	機械濃縮棟
K 0 2 4 0	No.1機械濃縮汚泥貯留槽液位計	機械濃縮棟

[illegible]

特記別表 3

対象機器一覧表 (No.1)

【久保ポンプ場・汚水関係】 (機械設備)

【久保ポンプ場・汚水関係】 (電気設備)

機器番号	機 器 名 称	設 置 場 所	機器番号	機 器 名 称	設 置 場 所
0010	No.1 汚水流入ゲート	1 F ゲート室	0010	汚水ポンプ設備補助継電器盤(1)	2 F 電気室
0020	No.2 汚水流入ゲート	1 F ゲート室	0020	汚水ポンプ設備補助継電器盤(2)	2 F 電気室
0030	ポンプ井仕切ゲート	B 1 F ポンプ室	0030	汚水ポンプ設備補助継電器盤(3)	2 F 電気室
0040	1 号汚水用自動除塵機	B1F沈砂池機械室	0040	汚水ポンプ設備コントロールセンタ盤	2 F 電気室
0050	2 号汚水用自動除塵機	B1F沈砂池機械室	0050	汚水ポンプ設備コントロールセンタ盤	2 F 電気室
0060	No.1 破砕機	B1F沈砂池機械室	0060	汚水ポンプ設備コントロールセンタ盤	2 F 電気室
0070	No.2 破砕機	B1F沈砂池機械室	0070	揚砂ポンプ用ホイス	B1F沈砂池機械室
0080	汚水揚砂ポンプ	B1F沈砂池機械室	0080	汚水揚砂ポンプ	B1F沈砂池機械室
0090	揚砂ポンプ用ホイス	B1F沈砂池機械室	0090	汚水自動除塵機	B1F沈砂池機械室
0100	No.1 汚水ポンプ	B 1 F ポンプ室	0100	汚水流入ゲート	1 F ゲート室
0110	No.2 - 1 汚水ポンプ	B 1 F ポンプ室	0110	汚水ポンプ井水位計	B 1 F ポンプ室
0120	No.2 - 2 汚水ポンプ	B 1 F ポンプ室	0120	No.1 水中攪拌機	B 1 F ポンプ室
0130	No.1 水中攪拌機	B 1 F ポンプ室	0130	No.2 水中攪拌機	B 1 F ポンプ室
0140	No.2 水中攪拌機	B 1 F ポンプ室	0140	作業用電源盤	B1F沈砂池機械室
0150	No.1 吐出弁	B 1 F ポンプ室	0150	汚水吐出流量計	B1F沈砂池機械室
0160	No.2 - 1 吐出弁	B 1 F ポンプ室	0160	汚水流入渠水位計	1 F ゲート室
0170	No.2 - 2 吐出弁	B 1 F ポンプ室	0170	汚水ポンプ井水位計 (投込式1)	B 1 F ポンプ室
0180	1 号、2 号汚水ポンプ吊上用チェーンブロック	B 1 F ポンプ室	0180	汚水ポンプ井水位計 (投込式2)	B 1 F ポンプ室
			0190	汚水ポンプ監視制御盤	2 F 電気室

特記別表 3

対象機器一覧表 (No. 2)

【久保ポンプ場・雨水関係】 (機械設備)

機器番号	機 器 名 称	設 置 場 所	機器番号	機 器 名 称	設 置 場 所
0010	雨水流入ゲート	1 F ゲート室	0240	重油タンク	場内 (地下)
0020	バイパスゲート	1 F ゲート室	0250	No. 1 燃料移送ポンプ	1 F エンジンスペース
0030	1号雨水用自動除塵機	B1F沈砂池機械室	0260	No. 2 燃料移送ポンプ	1 F エンジンスペース
0040	2号雨水用自動除塵機	B1F沈砂池機械室	0270	No. 3 燃料移送ポンプ	1 F エンジンスペース
0050	し渣コンベア	B1F沈砂池機械室	0280	燃料小出槽	1 F エンジンスペース
0060	サイクロン	B1F沈砂池機械室	0290	減速機初期潤滑油ポンプ	1 F エンジンスペース
0070	沈砂洗浄機	B1F沈砂池機械室	0300	バイパスフラップ弁	場内
0080	し渣掻揚機	B1F沈砂池機械室	0310	No. 1 吐出弁	B 1 F ポンプ室
0090	沈砂搬出機	B1F沈砂池機械室	0320	No. 2 吐出弁	B 1 F ポンプ室
0100	揚砂ポンプ用ホイス	B1F沈砂池機械室	0330	No. 3-1 吐出弁	B 1 F ポンプ室
0110	沈砂池機器搬出ホイス No. 1	1 F 搬入室	0340	No. 3-2 吐出弁	B 1 F ポンプ室
0120	沈砂池機器搬出ホイス No. 2-1	場内	0350	No. 1 フラップ弁	場内
0130	沈砂池機器搬出ホイス No. 2-2	場内	0360	No. 2 フラップ弁	場内
0140	沈砂洗浄機用集中給油装置	B1F沈砂池機械室	0370	床排水ポンプ	B 1 F ポンプ室
0150	No. 1 雨水ポンプ	B 1 F ポンプ室	0380	脱臭ファン	M 3 F 脱臭室
0160	No. 2 雨水ポンプ	B 1 F ポンプ室	0390	脱臭装置	M 3 F 脱臭室
0170	No. 3 雨水ポンプ	B 1 F ポンプ室	0400	ミストセパレーター	M 3 F 脱臭室
0180	No. 2 雨水ポンプ用電動機	B 1 F ポンプ室	0410	No. 1 揚水ポンプ	B 1 F ポンプ室
0190	ディーゼル機関	1 F エンジンスペース	0420	No. 2 揚水ポンプ	B 1 F ポンプ室
0200	空気槽 (常用)	1 F エンジンスペース			
0210	空気槽 (予備)	1 F エンジンスペース			
0220	No. 1 空気圧縮機	1 F エンジンスペース			
0230	No. 2 空気圧縮機	1 F エンジンスペース			

特記別表 3

対象機器一覧表 (No. 3)

【久保ポンプ場・雨水関係】(電気設備 1)

機器番号	機 器 名 称	設 置 場 所	機器番号	機 器 名 称	設 置 場 所
0010	PAS	場内	0240	雨水ポンプ設備補助継電器盤(1)	2F電気室
0020	引込盤	2F電気室	0250	雨水ポンプ設備補助継電器盤(2)	2F電気室
0030	受電盤	2F電気室	0260	雨水ポンプ設備補助継電器盤(3)	2F電気室
0040	No.1 動力変圧器盤	2F電気室	0270	雨水ポンプ設備補助継電器盤(4)	2F電気室
0050	ディーゼル機関	2F発電機室	0280	雨水ポンプ設備コントロールセンタ盤	2F電気室
0060	発電機	2F発電機室	0290	雨水ポンプ設備コントロールセンタ盤	2F電気室
0070	自動始動盤	2F発電機室	0300	雨水ポンプ設備コントロールセンタ盤	2F電気室
0080	発電機盤	2F発電機室	0310	雨水ポンプ設備コントロールセンタ盤	2F電気室
0090	一次消音器	2F発電機室	0320	雨水ポンプ設備コントロールセンタ盤	2F電気室
0100	二次消音器	2F発電機室	0330	揚砂ポンプ用ホイス	B1Fポンプ室
0110	三次消音器	2F発電機室	0340	雨水流入ゲート	1Fゲート室
0120	No.1 空気槽	2F発電機室	0350	雨水揚砂ポンプ	B1Fポンプ室
0130	No.2 空気槽	2F発電機室	0360	No.1 雨水ポンプ	1Fエンジンスペース
0140	No.1 空気圧縮機	2F発電機室	0370	No.2 雨水ポンプ	1Fエンジンスペース
0150	No.2 空気圧縮機	2F発電機室	0380	No.3 雨水ポンプ	1Fエンジンスペース
0160	減圧水槽	2F発電機室	0390	雨水ポンプ井水位計	1Fエンジンスペース
0170	燃料小出槽	2F発電機室	0400	沈砂洗浄機	B1Fポンプ室
0180	取引計器箱	場内	0410	冷却水ポンプ	B1Fポンプ室
0190	動力分岐盤	2F電気室	0420	揚水ポンプ	B1Fポンプ室
0200	動力分岐盤	2F電気室	0430	床排水ポンプ	B1Fポンプ室
0210	動力変圧器二次盤	2F電気室	0440	燃料移送ポンプ	1Fエンジンスペース
0220	雨水自動除塵機	B1Fポンプ室	0450	空気圧縮機	1Fエンジンスペース
0230	コントローラ盤	2F電気室	0460	燃料受入	場内

【久保ポンプ場・雨水関係】（電気設備 2）

[illegible]

特記別表 3

対象機器一覧表 (No. 5)

【新高山前処理施設関係】

機器番号	機 器 名 称	設 置 場 所
0010	粗目自動スクリーン	B 1 F
0020	破碎機	B 1 F
0030	破碎機吊上機	B 1 F
0040	脱臭ファン	1 F
0050	中間式ラインファン	1 F
0060	土壌脱臭装置	場内
0070	引込計器盤	1 F
0080	LM-1	1 F

【東部漁協マンホールポンプ関係】

機器番号	機 器 名 称	設 置 場 所
0010	No. 1 マンホールポンプ	マンホール内
0020	No. 2 マンホールポンプ	マンホール内
0030	No. 1 逆止弁	マンホール内
0040	No. 2 逆止弁	マンホール内
0050	No. 1 仕切弁	マンホール内
0060	No. 2 仕切弁	マンホール内
0070	水位計 (投込式)	マンホール内
0080	水位計 (フロート式)	マンホール内
0090	引込開閉器盤	場外
0100	マンホールポンプ制御盤	場外
0110	非常通報装置	制御盤内

【倉ノ内マンホールポンプ関係】

機器番号	機 器 名 称	設 置 場 所
0010	No. 1 マンホールポンプ	マンホール内
0020	No. 2 マンホールポンプ	マンホール内
0030	No. 1 逆止弁	マンホール内
0040	No. 2 逆止弁	マンホール内
0050	No. 1 仕切弁	マンホール内
0060	No. 2 仕切弁	マンホール内
0070	水位計 (投込式)	マンホール内
0080	水位計 (フロート式)	マンホール内
0090	引込開閉器盤	場外
0100	マンホールポンプ制御盤	場外
0110	非常通報装置	制御盤内

【浜田地区マンホールポンプ関係】

機器番号	機 器 名 称	設 置 場 所
0010	No. 1 マンホールポンプ	マンホール内
0020	No. 2 マンホールポンプ	マンホール内
0030	No. 1 逆止弁	マンホール内
0040	No. 2 逆止弁	マンホール内
0050	No. 1 ボール弁	マンホール内
0060	No. 2 ボール弁	マンホール内
0070	水位計 (投込式)	マンホール内
0080	水位計 (フロート式)	マンホール内
0090	マンホールポンプ制御盤	場外
0100	非常通報装置	制御盤内

特記別表 3

対象機器一覧表 (No. 6)

【平原幹線マンホールポンプ関係】

機器番号	機 器 名 称	設 置 場 所
0 0 1 0	No. 1 マンホールポンプ	マンホール内
0 0 2 0	No. 2 マンホールポンプ	マンホール内
0 0 3 0	No. 1 逆止弁	マンホール内
0 0 4 0	No. 2 逆止弁	マンホール内
0 0 5 0	No. 1 仕切弁	マンホール内
0 0 6 0	No. 2 仕切弁	マンホール内
0 0 7 0	水位計 (投込式)	マンホール内
0 0 8 0	水位計 (フロート式)	マンホール内
0 0 9 0	引込開閉器盤	場外
0 1 0 0	マンホールポンプ制御盤	場外
0 1 1 0	非常通報装置	制御盤内

【平原地区マンホールポンプ関係】

機器番号	機 器 名 称	設 置 場 所
0 0 1 0	No. 1 マンホールポンプ	マンホール内
0 0 2 0	No. 2 マンホールポンプ	マンホール内
0 0 3 0	No. 1 逆止弁	マンホール内
0 0 4 0	No. 2 逆止弁	マンホール内
0 0 5 0	No. 1 ボール弁	マンホール内
0 0 6 0	No. 2 ボール弁	マンホール内
0 0 7 0	水位計 (気泡式)	マンホール内
0 0 8 0	水位計 (フロート式)	マンホール内
0 0 9 0	引込開閉器盤	場外
0 1 0 0	マンホールポンプ制御盤	場外
0 1 1 0	非常通報装置	制御盤内

【新浜幹線マンホールポンプ】

機器番号	機 器 名 称	設 置 場 所
0 0 1 0	No. 1 マンホールポンプ	マンホール内
0 0 2 0	No. 2 マンホールポンプ	マンホール内
0 0 3 0	No. 1 逆止弁	マンホール内
0 0 4 0	No. 2 逆止弁	マンホール内
0 0 5 0	No. 1 仕切弁	マンホール内
0 0 6 0	No. 2 仕切弁	マンホール内
0 0 7 0	水位計 (投込式)	マンホール内
0 0 8 0	水位計 (フロート式)	マンホール内
0 0 9 0	引込開閉器盤	場外
0 1 0 0	マンホールポンプ制御盤	場外
0 1 1 0	非常通報装置	制御盤内

特記別表 3

対象施設一覧表 (No. 7)

【久保圧送幹線空気弁 点検場所】

機器番号	設 置 場 所	
0 0 1 0	太田川橋梁	
0 0 2 0	山波32号線入口	
0 0 3 0	尾道造船(株)バス停前	
0 0 4 0	山波交番前	
0 0 5 0	平林酒店前	
0 0 6 0	尾道大橋下	
0 0 7 0	尾崎バス停前	
0 0 8 0	尾道漁協前	

【新高山幹線空気弁 点検場所】

機器番号	設 置 場 所	
0 0 9 0	越面遊園地前	
0 1 0 0	大宝寺前	
0 1 1 0	新高山前処理施設前	

特記別表4 水質分析等に係る業務

1. 水質試験

業務区分	目的	内容
水質分析	流入水及び放流水について、維持監理に必要な項目を分析し、維持管理状況を把握するとともに、放流水質の監視を行う。	別添要領書1
汚泥性状分析	汚泥の各処理過程での性状を把握して、汚泥処理を適正に管理する。	別添要領書1

2. 臭気試験

業務区分	目的	内容
臭気分析	悪臭による環境への影響被害を防止するため、敷地境界等において、五感（官能検査）及び状況により測定器等を使用して検査を実施する。	平成15年広島県条例第35号参照

3. 水質試験補助

業務区分	業務内容
発注者が行う採水業務に係わる補助業務	<ul style="list-style-type: none"> ・採水に係る安全・衛生対策 ・採水
発注者が行う水質試験で使用了器具洗淨	<ul style="list-style-type: none"> ・器具の洗淨

特記別表5 物品等の調達・管理に関する業務

尾道市浄化センター

物品等の名称	予定数量／年	規格等
次亜塩素酸ソーダ	23,000kg	有効塩素12%以上、比重1.1以上、 塩分5%以下
汚泥処理用高分子凝集剤	2,000kg	ハイモロックZP-700 又は同等品
機械濃縮機用凝集剤	860kg	テツフリックPFK-1202BH 又は 同等品
脱水機ろ布洗浄剤	120kg	セキスイろ布洗浄剤＃110 又は 同等品
固形塩素	220kg	ハイクロンLT-200 又は 同等品
酸性ガス用活性炭	120kg	フジ活性炭BGG-S4～6 又は 同等品

特記別表6 業務の報告等

提出書類	記載事項	提出期限
1. 業務日誌に記載すべき事項	①天候、気温、雨量	翌日
	②業務従事者職氏名	
	③操作・作業内容及び処理水量	
	④ユーティリティ・その他物品の使用数量等	
	⑤主要設備の運転、監視記録	
	⑥その他必要事項	
2. 毎月の業務報告書に記載すべき事項	①業務日誌の総括	翌月の5日
	②業務日誌の①③④の月集計	
	③保守点検、修繕、調整等の実施記録	
	④環境計測の実施記録	
	⑤事故、故障、苦情等の発生及び対応記録	
	⑥施設管理業務の実施状況及び結果	
	⑦その他必要事項	
3. 年間の業務報告書に記載すべき事項	①毎月の業務報告書の総括	年度末
	②技術提案事項の客観的評価と実現化策	
	③その他必要事項	

※業務報告書の提出は翌日が祝休の場合は、その翌日とする。

特記別表7 流入基準を著しく逸脱した流入水と認められる場合

流入水に関する基準は以下のとおりとする。

なお、流入水が下記の基準を満たさない場合は、受注者は緊急措置を講じるとともに、その事態の内容、想定される影響及び緊急措置の内容を、速やかに発注者に報告すること。

(1)尾道市浄化センター

①流入水量

項目	単位	基準	備考
日平均流入水量	m ³ /日	7,900	流量計測定結果(日最大)
日最大流入水量	m ³ /日	9,700	流量計測定結果(日最大)
時間最大流入水量	m ³ /日	14,000	流量計測定結果(時間最大)

②流入水質

項目	単位	基準	備考
pH	—	6.8～7.4	受注者による計測結果(日最大)
透視度	度	3以上	受注者による計測結果(日最大)
BOD	mg/L	540以下	受注者による計測結果(日最大)
COD	mg/L	170以下	受注者による計測結果(日最大)
SS	mg/L	360以下	受注者による計測結果(日最大)
大腸菌群数	個/mL	1,000,000以下	受注者による計測結果(日最大)
T-N	mg/L	43以下	受注者による計測結果(日最大)
T-P	mg/L	7以下	受注者による計測結果(日最大)
その他下水道法施行令第9条の4に掲げる物質	—	当該各号に定める数値	受注者による計測結果(日最大)

(2)久保ポンプ場

①流入水量

項目	単位	基準	備考
日平均流入水量	m ³ /日	2,970	流量計測定結果(日最大)
日最大流入水量	m ³ /日	3,649	流量計測定結果(日最大)
時間最大流入水量	m ³ /日	5,261	流量計測定結果(時間最大)

(3)新高山前処理施設

①流入水量

項目	単位	基準	備考
日平均流入水量	m ³ /日	709	流量計測定結果(日最大)
日最大流入水量	m ³ /日	945	流量計測定結果(日最大)
時間最大流入水量	m ³ /日	1,350	流量計測定結果(時間最大)

別添要領書1 水質測定に係る業務

1. 受注者は、要求水準書に定める放流水質契約基準及び脱水汚泥契約基準、その他契約図書に定める維持管理に係る要件を達成するために、以下に定める水質測定を実施しなければならない。
 - (1) 日常水質分析
放流水質及び発生汚泥性状の目標基準及び各種の維持管理に係る要件に適合させるために、日常の流入水質、放流水質、発生汚泥性状を計測、記録する作業。なお、計測が必要な項目及び頻度は、別紙1, 2を参照のこと。
 - (2) 異常時水質分析
放流水質及び発生汚泥性状が、目標基準または遵守基準を超えた場合に必要とされる流入水質、放流水質、脱水汚泥含水率の計測、記録作業。
 - (3) 分析結果の解析
日常及び異常時水質分析結果により、測定したデータの整理、解析、報告書の作成を行う作業。分析結果により運転方法や保守点検方法の改善を図るもの。
 - (4) 異常時の水質測定
環境への影響が予見され、または発生した場合に必要となる水質測定。
2. 受注者は、前項に定めるもの以外でも、必要に応じて水質測定とその分析を行い、これを運転操作等に反映させなければならない。
3. 受注者は、契約図書の定めにより法定試験を行う場合は、計量証明書を発行できる機関に委任しなければならない。ただし、受注者自らが計量証明書を発行できる場合は、その限りでない。
4. 受注者は、水質測定による分析試験結果を継続的に記録し、必要な帳票類を調製しなければならない。
5. 受注者は、放流水質及び発生汚泥性状に係る各種法令等を熟知し、その定めに従わなければならない。
6. 受注者は、各種分析試験で使用する試薬の廃液等を、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年12月25日法律第137号）に基づいて適正に処理し、その処分方法、処分先等を明示した報告書を、発注者に提出しなければならない。
7. 受注者は、本件施設内の水質試験室及びその配置器具等の清掃を常に心がけ、整理整頓に努めなければならない。
8. 受注者は、分析試験に使用する毒劇物の取扱いに十分注意し、安全を期するとともに、薬品類の在庫管理や施錠管理を行い、盗難または紛失を防止しなければならない。
9. 受注者は、発注者から貸与された試薬、器具、消耗品類等を消費、消耗、毀損した場合は、受注者により適宜補充し、履行期間終了時には、発注者から、本件業務開始時に貸与されたものと同等のものを返還しなければならない。
10. 受注者は、水質測定のための試料採取にあたっては、代表的な試料となるように採取場所に留意し、その分析試験結果に疑義が生じないよう必要な措置を講じなければならない。ただし、法令または契約図書に採水方法等が定められている場合は、その定めに従わなければならない。

11. 受注者は、この要求水準書に定めのある分析試験については、下水の水質の検定方法等に関する省令（昭和37年厚生省、建設省令第1号）及び同省令で引用する排水基準を定める省令の規定に基づく環境大臣が定める排水基準に係る検定方法（昭和49年環境庁告示第64号）、日本工業規格、その他関係する規程並びに社団法人日本下水道協会編「下水試験方法」に定める検定方法により行わなければならない。
12. 受注者は、この要求水準書に定めのない分析試験については、受注者が定める方法により行うことができる。その場合、その測定精度については、受注者の裁量により確保しなければならない。
13. 受注者は、水質測定に用いる機器類について、その測定精度が確保できるよう、定期的に点検整備及び消耗品の交換等を行わなければならない。

尾道市浄化センター・水質測定一覧表

別添要領書1 別紙 1

水質測定業務（水処理施設）通常試験

項目 採水箇所	流入水	初沈出口	放流水	反応槽 A-1	反応槽 A-2	A 系返送汚泥	反応槽 B	B 系返送汚泥	初沈汚泥
				④	④		③		
				⑧	⑧		⑦		
水温	○	○	○	-	-	-	-	-	-
透視度	○	○	○	-	-	-	-	-	-
PH	○	○	○	○	○	○	○	○	○
S S	○	○	○	○	○	○	○	○	○
C O D	○	○	○	-	-	-	-	-	-
塩化物イオン	○	○	○	-	-	-	-	-	-
アルカリ度	○	○	○	-	-	-	-	-	-
含水率	-	-	-	-	-	-	-	-	-
採水方法	自動採水器	柄付きひしゃく	柄付きひしゃく	柄付きひしゃく	柄付きひしゃく	柄付きひしゃく	柄付きひしゃく	柄付きひしゃく	柄付きひしゃく

	測定頻度
水温	週2回
透視度	週2回
PH	週2回
S S	週2回
C O D	週2回
塩化物イオン	週2回
アルカリ度	週2回

※下水道法に基づく分析

尾道市浄化センター・水質測定一覧表

別添要領書 1 別紙 2

水質測定業務（汚泥処理施設）通常試験

採水箇所 項目	脱水返流水	脱水濃縮	機械返流水	機械汚泥	機械濃縮	浄化槽	脱水ケーキ
水温	-	-	-	-	-	-	-
透視度	-	-	-	-	-	-	-
PH	○	○	○	○	○	○	-
S S	○	○	○	○	○	○	-
C O D	○	-	○	-	-	-	-
塩化物イオン	○	-	○	-	-	-	-
アルカリ度	○	-	○	-	-	-	-
含水率	-	-	-	-	-	-	○
採水方法	柄付きひしゃく	柄付きひしゃく	柄付きひしゃく	柄付きひしゃく	柄付きひしゃく	柄付きひしゃく	-

	測定頻度
水温	週2回
透視度	週2回
PH	週2回
S S	週2回
C O D	週2回
塩化物イオン	週2回
アルカリ度	週2回
含水率	月2回程度

※下水道法に基づく分析

尾道浄化センター 採水場所



正門

通用門

土壌脱臭床

A系Ⅱ-4

流入水

ポンプ棟

初沈汚泥

分配槽

最初沈殿池

最初沈殿池

土壌脱臭床

脱水返流水

機械汚泥

脱水ケーキ

機械棟

管理棟

B系返送

B系-3

B系-7

電気室

A系返送
初沈

生物反応槽

A系Ⅱ-4

A系Ⅱ-8

A系Ⅰ-4

A系Ⅰ-8

最終沈殿池

減菌前
BOD

電気室

放流水

濃縮タンク

脱水濃縮
機械返流水
機械濃縮（地下）
浄化槽（地下）



環境調査業務測定地点位置図

No.2 △

通用門

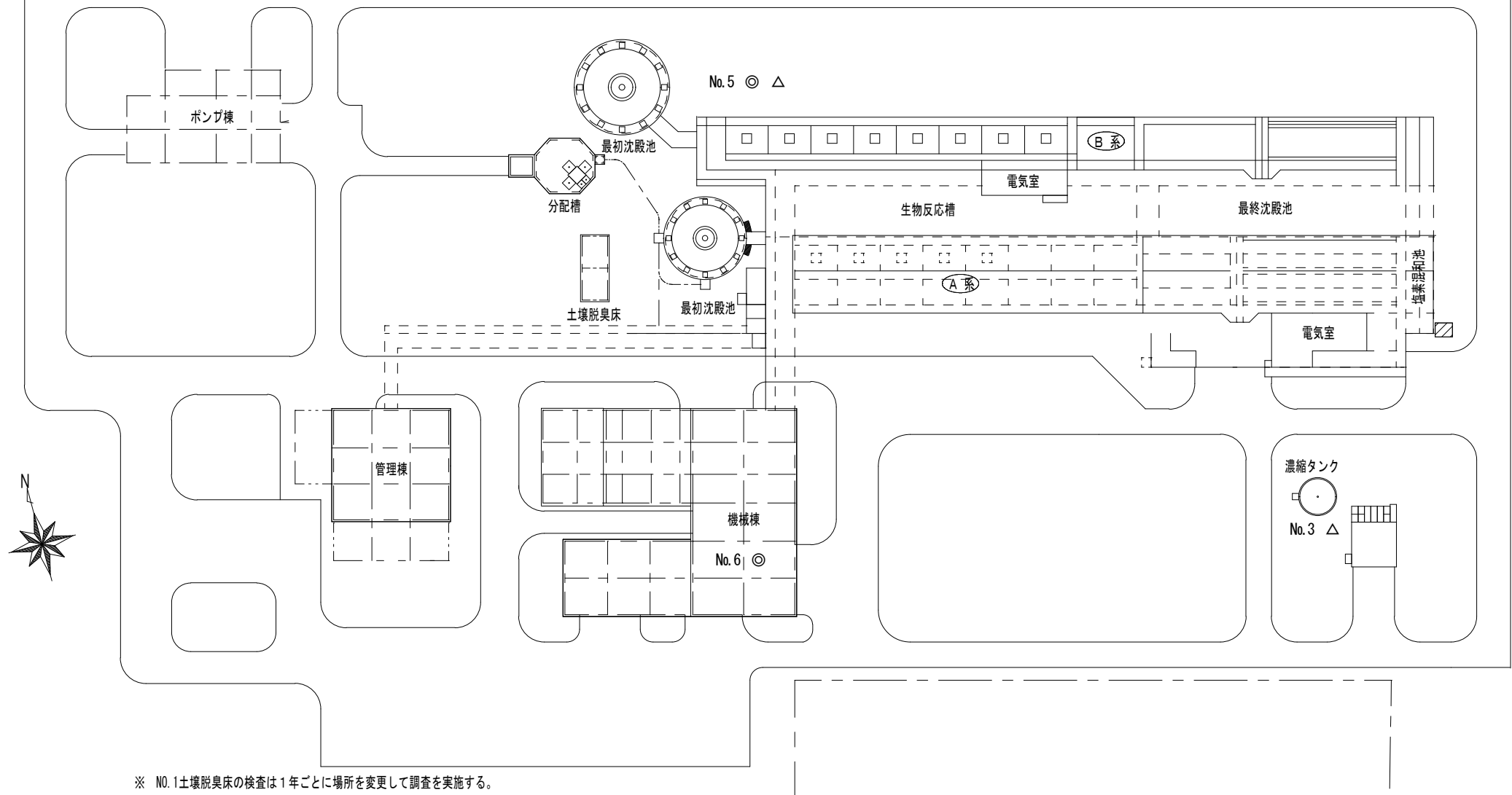
- ◎ 悪臭物質調査場所
- △ 臭気濃度調査場所

正門
No.4 △

No.1 ◎ △



土壌脱臭床



※ NO.1土壌脱臭床の検査は1年ごとに場所を変更して調査を実施する。